

平成29年度 生活・自立支援キャンプ
「チャレンジあいよ夢ジュニア」
～新緑の春山を歩く～



チャレンジあいよ夢ジュニア（趣旨）

豊かな自然の中での様々な体験や冒険的プログラムに挑戦してたくましい心と体を育成し、参加者間の交流を深めるとともに、集団生活の中で規則正しい生活習慣を身につける。

1. ねらい

新緑の曾爾高原を舞台に豊かな自然の中で、様々な体験を通して、大自然の素晴らしさに気づき、参加者間の交流を深めるとともに、集団生活の中で規則正しい生活習慣を身につける。

- あいさつをしよう
- いろんなことにチャレンジしよう
- よく寝て、よく食べよう

2. 実施日

5月4日（木）～5月6日（土） 2泊3日

3. 対象者（参加施設）

奈良県内の児童養護施設入所児童
（5施設／奈良県内児童養護施設6施設）

4. 参加者 / 募集定員

46人／30人

- 1年生1人、2年生3人、3年生9人、
4年生13人、5年生14人、6年生6人、

5. プログラム（要約）

本事業は、奈良県内の児童養護施設に入所する児童を対象に、「春」の豊かな自然環境の中、登山や野外炊事など、様々な自然体験活動を行うとともに、集団宿泊体験や規則正しい生活習慣を身につけるプログラムを実施した。また、施設間交流を図るため、施設の壁を取り払った異年齢のグループを編成し、仲間作りやコミュニケーションの充実を図った。さらに、就寝や食事については自施設の仲間と過ごし、子どもが安心して過ごせる時間を確保した。

スケジュール

- 5月4日（木）
アイスブレイク
曾爾高原グリーンフェスタ参加
登山準備
カプラ
- 5月5日（金）
春山登山（俱留尊山）
野外炊事（煮込みうどん）
ナイトハイク、星空観察
- 5月6日（土）
あいよプログラム（エックスロープ 大縄、クラフト）

【1日目】



開会式後、アイスブレイクを行い参加者同士の交流を図った。初めは緊張していた子どもたちも、交流ゲームを通して徐々に笑顔があふれ、他施設の仲間との関わりも増えていった。その後、曾爾青少年自然の家で開催していた「曾爾高原グリーンフェスタ」に参加した。各施設ごとにブースを回り、フェスタを楽しんだ。

【2日目】



五月晴れのもと、俱留尊山を目指した。参加者は互いに励まし合いながら、全員元気に登頂できた。休憩後は野外炊事を行い、煮込みうどんを作った。夜には満天の星空の下、ナイトハイクを行った。

【3日目】



「あいよプログラム」では、施設間交流を図るために全員でグループ分けをし、縄を使った活動や昆虫グライダー作りを行った。それぞれ力を合わせて取り組み、楽しんだ。

6. まとめ

登山時は天候に恵まれ、眼下に広がる美しい景色に感動していた。また、仲間と助け合いながら登頂し、それぞれ達成感を味わうことができた。夜は、満天の星空を観察し、曾爾の大自然を身体いっぱいを感じることもできた。

参加者からは、「登山している時、自分からしっかり挨拶できた」「星がめっちゃきれいやった」などの感想が聞かれた。

（企画指導専門職 上田 考浩）

平成29年度 生活・自立支援キャンプ 「集まれ！なばりっ子 in 曾爾」



集まれ！なばりっ子 in 曾爾（趣旨）

豊かな自然の中での様々な体験や冒険的プログラムに挑戦してたくましい心と体を育成し、参加者間の交流を深めるとともに、集団生活の中で規則正しい生活習慣を身につける。

2. ねらい

夏の曾爾高原を舞台に豊かな自然の中で、様々な体験を通して、大自然の素晴らしさに気づき、参加者間の交流を深めるとともに、集団生活の中で規則正しい生活習慣を身につける。

- あいさつをしよう
- いろんなことにチャレンジしよう
- よく寝て、よく食べよう

2. 実施日

7月23日（日）～7月24日（月）1泊2日

3. 対象者（参加施設）

名張養護学園

4. 参加者 / 募集定員

13人 / 30人

1年生1人、2年生2人、3年生2人、
4年生3人、5年生2人、6年生3人

5. プログラム（要約）

本事業は、名張市の児童養護施設に入所する児童を対象に、「夏」の自然環境の中、川遊びや野外炊事など、様々な自然体験活動を行うとともに、集団活動を通じて規則正しい生活習慣を身につけるプログラムを実施した。また、異年齢の班を編成し、仲間作りやコミュニケーションの充実を図るとともに、達成感や自己肯定感を養うプログラム構成とした。

スケジュール

7月23日（日）

- ・開会式、
- ・フィールドアスレチック
- ・川遊び
- ・ナイトハイク
- ・天体観測

7月24日（月）

- ・野外炊事
- ・閉会式

【1日目】

開会式後、フィールドアスレチックを楽しんだ。低学年児童は、高学年児童に手助けしてもらいながら、難しいものにもチャレンジしていた。その後、曾爾川へ移動し、川遊びを行った。川の流れに乗って泳いだり、網で魚を取ったり、目いっぱい楽しんだ。

夜はナイトハイクに出かけ、たくさんの虫たちの鳴き声に耳を澄ました。ナイトハイク後、天体観測を行った。生憎、厚い雲が覆っていた為、ほとんど星は見えなかったが、雲の隙間からいくつかの星を観ることができた。その際、天体観測を目的に宿泊していた団体の方々にご協力いただき、まるで大砲のような大きな望遠鏡をのぞかせてもらった。子どもたちは、図鑑でしか見ることができないような星の姿に感嘆の声をあげ、宇宙の神秘さを感じていた。



【2日目】



午前中、野外炊事で焼肉と焼きそば作りを行った。班で役割を分担し、薪割りをしたり野菜を切ったり、みんなで協力しながら調理をしていた。

6. まとめ

川・山・星など、様々な自然に直接触れることで、子どもたちは常に目を輝かせながら活動をしていた。普段なかなかできない体験をたくさんすることができ、「もっと泊まりたい」「絶対また来る」という声が聞かれた。

（企画指導専門職 上田 考浩）

平成29年度 生活・自立支援キャンプ
「チャレンジあいよ夢ジュニア」
～白銀の冬山に挑む～



チャレンジあいよ夢ジュニア (趣旨)

豊かな自然の中での様々な体験や冒険的プログラムに挑戦してたくましい心と体を育成し、参加者間の交流を深めるとともに、集団生活の中で規則正しい生活習慣を身につける。

3. ねらい ～白銀の冬山に挑む～

冬山を舞台に、豊かな自然の中で様々な体験を通して大自然の素晴らしさに気づき、参加者間の交流を深めるとともに、集団生活の中で規則正しい生活習慣を身につける。

- あいさつをしよう
- いろんなことにチャレンジしよう
- よく寝て、よく食べよう

2. 実施日

1月19日(金)～1月21日(日) 2泊3日

3. 対象者 (参加施設)

奈良県内の児童養護施設入所児童
(5施設/奈良県内児童養護施設6施設)

4. 参加者 / 募集定員

25人/30人
(小学生:17人 中学生:3人 高校生:5人)

5. プログラム (要約)

本事業は、奈良県内の児童養護施設に入所する児童・生徒を対象に、「冬」の厳しい自然環境の中、雪山登山や雪遊びなど、様々な自然体験活動を行うとともに、集団宿泊体験や規則正しい生活習慣を身につけるプログラムを実施。また、施設間交流を図るため、様々な活動を行い仲間作りやコミュニケーションの充実を図った。また、就寝や食事については自施設の仲間と過ごし、子どもが安心して過ごせる時間を確保した。

スケジュール

1月19日(金)
始まりの会
登山準備
1月20日(土)
冬山登山(三峰山)
ふりかえり
カブラ
1月21日(日)
「あいよプログラム」
(フォトテレーリング、ドッジビー)
終わりの会

【1日目】1月19日(金)

各施設が到着後、始まりの会を行った。その後、翌日の登山の準備として、スノーブーツのサイズ合わせ、アイゼンの装着練習、クッカーの練習などを行った。

【2日目】1月20日(土)



三峰山登山に挑戦した。天気にも恵まれ、穏やかな天候のもと、互いに励まし合いながら、全員無事に登頂して、山頂では雪合戦も楽しんだ。下山後、ゆ

ったりと温泉に入り、夜は、登山のふりかえりをした後、カブラに取組んだ。他施設の仲間と協力しながら、それぞれ思い思いの形を積み上げた。

【3日目】1月21日(日)



午前中、「あいよプログラム」を実施した。前半は、フォトテレーリングを施設の枠を越えた5グループに分かれて行った。後半は体育館でドッジビー・卓球・バドミントンなど

職員も一緒に入って行いとても盛り上がった。みんながルールを守りスムーズに気持ち良く遊べるように協力し、他施設の友だちとも楽しく交流することができた。

6. まとめ

みんなで協力し励まし合いながら、冬の大自然の厳しさに立ち向かい乗り越えたことで、素晴らしい景色に感動したり、達成感を得たりすることができた。参加者から、「登山で登りはとてもしんどかったけど、お昼ご飯を食べた後の雪合戦が楽しかった。」「来年も絶対に参加したい。」「他の施設の人と交流していろいろしゃべれて楽しかった。」「いろんな人と仲良くなれた。」などの感想が聞かれた。

(企画指導専門職 田中 耕司)